

IBM® Net.Data



メッセージおよびコード

バージョン 7

IBM® Net.Data



メッセージおよびコード

バージョン 7

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品を使用する前に、53ページの『特記事項』に記載する一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM[®] Net.Data
Messages and Codes
Version 7 BETA

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この（書体*）は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1997, 2000. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000

目次

第1章 本書について	1	特記事項	53
第2章 エラー・メッセージ	3	商標.	56
第3章 戻りコード	31	IBM と連絡をとる.	59
第4章 トレース・メッセージ	39	製品情報	59
Net.Data テクニカル・ライブラリー	51		

第1章 本書について

本書は、Net.Data によって戻されるメッセージおよびコードをリストし、説明します。

- Net.Data から戻されるメッセージ
- 関数呼び出しからの戻りコード
- デバッグに対してログ記録されるトレース・メッセージ

第2章 エラー・メッセージ

この章では、エラー発生時に `Net.Data` から戻されるメッセージについて説明します。

メッセージおよびそのヘルプ情報は、以下のように説明されています。

DTWAnnnB 実際のメッセージ・テキスト

説明: メッセージ番号 `DTWAnnnB` の詳しい説明。ここで、`AnnnB` はメッセージの番号、`B` は、以下に説明するメッセージの重大度を示します。

処置: エラーを訂正するために有効な処置。

各メッセージには、そのメッセージを同定するためのメッセージ番号と、エラーが発生した理由についての追加情報、そしてエラーを解決するための処置が示されています。番号の末尾には、以下のいずれかの文字があります。

- E** エラー・メッセージ。このメッセージは、マクロを正常に実行するためには、ユーザーによる処置が必要なエラーまたは問題であることを示します。マクロのデバッグ、`Net.Data` 初期設定ファイルの再構成、システム管理者への連絡、あるいは **IBM** 担当員への連絡などが必要な場合があります。
- I** 通知メッセージ。このメッセージは通知目的のみのものであり、ユーザーによる処置は必要ありません。

メッセージ・テキストには、番号が付けられ、エラーや警告条件についての短い説明があります。このテキストには、戻りコード、理由コード、`SQL` コードなどのほかに、ファイル、変数、言語環境名などが含まれていることがあります。これらの名前やコードは本書には示されませんが、メッセージでは置き換えられています。

メッセージ・テキストとともに、説明およびユーザーの処置が示されます。この情報は、問題のデバッグ方法や、管理者に連絡する必要があるかどうかを判別する際の助けとなります。

DTWA000I Net.Data は内部エラー
<error_type> を検出しました。

説明: Net.Data が上述の内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Net.Data の管理者に連絡してください。

DTWA001E Net.Data は変数 <variable_name>
の値が脱落しているか無効であることを検出しました。

説明: Net.Data が上述の変数の値が無効であるか脱落していることを検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効な値を指定して再試行してください。変数の有効な値についての詳細は、*Net.Data 解説書* を参照してください。

DTWA002E Net.Data は関数 <function_name>
を見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の関数を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルには上述の関数はありません。有効な関数を指定して再試行してください。

DTWA003E Net.Data はパラメーター
<parameter_name> に NULL 値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターに NULL 値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに NULL 値がないようにして再試行してください。

DTWA004E Net.Data はパラメーター
<parameter_names> の数が無効であることを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターの数が無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWA005I Net.Data はファイル <file_name>
を処理できません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、オープンできないために、Net.Data がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在し、Net.Data に適切な権限があることを確認してから再試行してください。

DTWA006I Net.Data 評価版ライセンスの有効
期限切れです。

説明: Net.Data を使用するには、有効なライセンスが必要です。

ユーザーの処置: 有効な Net.Data ライセンスを購入し、インストールしてから再試行してください。

DTWA007E URL の QUERY_STRING 変数の
構文が無効です。

説明: URL の QUERY_STRING 変数の構文が無効です。

ユーザーの処置: QUERY_STRING 変数を修正して再試行してください。

DTWA008E HTML POST 方式の入力データの
内容タイプが正しくありません。

説明: HTML POST 方式の入力データの内容タイプは、"application/x-www-form-urlencoded" でなければなりませんが、違っています。

ユーザーの処置: ブラウザーの MIME タイプをチェックして内容タイプを修正し、再試行してください。

DTWA009I Net.Data はオペレーティング・システムからメモリーを割り振れません。

説明: システムのメモリー不足により、Net.Data が必要なスペースを割り振れません。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムの状況、特に、仮想メモリーをチェックしてください。仮想メモリーが少な過ぎる場合は、使用可能メモリー・スペースを増やしてください。

DTWA010I CGI 変数 <variable_name> に無効な値 <variable_string> があります。

説明: 上述の CGI 変数に無効な値があります。

ユーザーの処置: 上述の CGI 変数に、Web サーバーが正しい値を指定しているかチェックして、再試行してください。

DTWA014E Net.Data は無効なパラメーター数を検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が無効なパラメーター数が指定されていることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWA016I LicDemo: ライセンス制御ファイルの作成エラー。

説明: Net.Data では、評価期間に試供ライセンスを認めることはできません。

ユーザーの処置: これは Net.Data の内部エラーである可能性があります。Net.Data をインストールしているハード・ディスクには、最低 2KB の空きスペースがあるようにしてください。スペー

スがある場合には、IBM のテクニカル・サポートを要求してください。

DTWA017I このサイトは Net.Data の一時ライセンスを使用しています。開始が <date> からで、評価期間は残り <days_remaining_value> 日です。

説明: Net.Data の試用期間が開始されました。数日間は Net.Data を使用できますが、この期間の後には、Net.Data の実動ライセンスを登録しなければなりません。登録がない場合は機能が停止します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA018I このサイトは Net.Data の一時ライセンスを使用しています。評価期間は残り <days_remaining_value> 日です。

説明: このメッセージは、試行期間の最初の日、および試行期間中、数日おきに時々表示されます。指定日数の間は Net.Data を使用できますが、この期間の後には、Net.Data の実動ライセンスを登録しなければなりません。登録がない場合は機能が停止します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA019I Net.Data の試用期間の期限切れです。実行するには、実動ライセンスで Net.Data を登録する必要があります。

説明: このメッセージは、Net.Data の試用期間の期限が切れる则表示されます。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、*Net.Data* ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA020I 有効は **Net.Data** ライセンス制御ファイルが見つかりません。**Net.Data** は終了します。

説明: このメッセージは、*Net.Data* が見つからなくなると表示され、*Net.Data* ライセンス制御ファイルを検証します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの *Net.Data* 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、*Net.Data* ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA021I **Net.Data** は `<codepage1_name>` から `<codepage2_name>` へのコード・ページ・コンバーターをオープンできません。**Net.Data** はデフォルト処理に切り替えています。

説明: 変数

DefaultNetCp、DefaultFsCp、DefaultDBCp の 1 つまたは複数に、無効なコード・ページが指定されました。デフォルト処理は、以下のとおりです。

- DefaultFsCp と DefaultNetCp の間:
 - DefaultFsCp = IBM-1047
 - DefaultNetCp = ISO8859-1
- DefaultFsCp と DefaultDBCp の間:
 - 変換は行われない

ユーザーの処置: Web サーバー構成ファイルの DefaultNetCp および DefaultFsCp に指定したコード・ページ、および *Net.Data* 初期設定ファイルの DefaultDBCp に指定したコード・ページが正しいかどうか検証してください。

DTWC000I **Live** コネクション・マネージャーは内部プロトコルでエラーを検出しました。**Live** コネクション・マネージャーはメッセージ `<expected_message>` を予期していましたが、受け取ったメッセージは `<received_message>` でした。

説明: Live コネクション・マネージャーが内部通信プロトコル・エラーを検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWC001I **Live** コネクション内部関数 `<function_name>` はコード `<return_code>` で失敗しました。

説明: Live コネクションが内部機能障害を検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWC002I **Live** コネクション内部関数 `<function_name>` はコード `<return_code_value>` で失敗しました。

説明: Live コネクションが内部機能障害を検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWC003I **Live** コネクションは **CLIETTE** グループ `<cliette_group_name>` のすべての **CLIETTE** を開始できません。

説明: Live コネクションが上述 **CLIETTE** グループのすべての **CLIETTE** を開始できませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWC004I **Live** コネクションは **CLIETTE** グループ `<cliette_group_name>` の要求を処理する **CLIETTE** を見つけることができません。

説明: Live コネクションが上述 **CLIETTE** グループの要求を処理する **CLIETTE** を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: Live コネクションの構成ファイルに **CLIETTE** グループ が正しく構成されていたかチェックしてください。

DTWC005I **Live** コネクション・マネージャーは構成ファイル `<file_name>` を読み取ることができませんでした。

説明: Live コネクション・マネージャーが上述の構成ファイルを読み取ることができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の構成ファイルが正しく読み取れません。このファイルがアクセスできるか、また、ファイル内の構成ステートメントが正しいかをチェックしてください。

DTWC006I **Live** コネクション **CLIETTE** は内部プロトコルでエラーを検出しました。**CLIETTE** はメッセージ `<expected_message>` を予期していましたが、受け取ったメッセージは `<received_message>` でした。

説明: Live コネクション **CLIETTE** は内部通信プロトコルでエラーを検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWC007I **Live** コネクション内部関数 `<function_name>` が失敗しました。オペレーティング・システムは以下のエラー・メッセージを戻しました
: `<system_error>`

説明: Live コネクションが内部機能障害を検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF004E **Net.Data** は巡回変数定義 `<var_def_name>` を検出しました。

説明: Net.Data の変数定義は自己参照ではありません。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルの定義セクションにある、上述の変数定義をチェックして再試行してください。

DTWF005E **Net.Data** は未定義の表名 `<table_name>` を検出しました。

説明: Net.Data の表変数は、`x=Table(number)` として定義しなければなりません。

ユーザーの処置: 表変数が定義されているかどうかマクロ・ファイルをチェックして、再試行してください。

DTWF006I **Net.Data** は最大文字列長を超えています。

説明: Net.Data が処理できる最大文字列長は 320,000 文字です。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルで変数名または関数名の長さをチェックし、長さを訂正して再試行してください。

DTWF007E Net.Data は無効なフォーム・データ項目を検出しました。

説明: フォーム・データの項目に名前がなく、変数名が予期されました。たとえば、`&=field` のようなフォーム・データです。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、不当な項目に名前を指定して再試行してください。

DTWF008E Net.Data はフォーム・データで等号 (=) が脱落していることを検出しました。

説明: フォーム・データには、`variable_name=variable_value` の形式が必須です。

ユーザーの処置: 無効なフォーム・データに等号 (=) を入れて再試行してください。

DTWF010E Net.Data はフォーム・データでデータベース名が脱落していることを検出しました。

説明: データベース言語環境項目には、データベース名がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、データベース言語環境項目にデータベース名を指定して再試行してください。

DTWF011E Net.Data は言語環境が指定されていないことを検出しました。

説明: フォーム・データの言語環境項目には、言語環境名がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、言語環境項目を指定して再試行してください。

DTWF012E Net.Data は照会が指定されていないことを検出しました。

説明: フォーム・データに、データベース言語環境は含まれていますが照会が脱落しています。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、照会を指定して再試行してください。

DTWF013E Net.Data は関数が指定されていないことを検出しました。

説明: フォーム・データには、関数の指定がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、関数を指定して再試行してください。

DTWF014E Net.Data はフォーム・データが変数 <variable_name> を定義していないことを検出しました。

説明: フォーム・データが定義されていない変数を参照しました。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、対応する変数を定義して再試行してください。

DTWF015I システム・コマンドは行番号 <number> で戻りコード <return_code> で失敗しました。

説明: システム・コマンドの実行後、Net.Data が非ゼロのシステム・エラー・コードを受け取りました。通常、これは実行が失敗したということです。

ユーザーの処置: 上述の行のシステム・コマンドの構文をチェックしてください。コマンド行からシステム・コマンドを試行して、エラーがあるかどうか検証してください。

DTWF016I Net.Data は構成ファイル
<file_name> をオープンすることが
できません。

説明: Net.Data が構成ファイルを見つけれない、またはオープンすることができません。

ユーザーの処置: Net.Data の構成ファイルがサーバーの HTML ルート・ディレクトリーにあり、このファイルに対するアクセス許可が読み取りおよび書き込み許可であるようにしてください。

DTWF017I Net.Data は構成ファイル
<file_name> を読み取ることができ
ません。

説明: Net.Data が構成ファイルを見つけることはできますが、読み取ることができません。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス許可を読み取りにしてください。

DTWF018E Net.Data は最大長を超えた SQL
ステートメントを検出しました。

説明: SQL ステートメントの文字列の最大長は 32000 バイトです。

ユーザーの処置: SQL ステートメントを、より短い複数の SQL ステートメントに分け、結果を結合するなど短く書き直して再試行してください。

DTWF019I Net.Data は言語環境
<lang_envir_name> に接続すること
ができませんでした。

説明: Net.Data が上述の言語環境に接続できませんでした。

ユーザーの処置: Live コネクション・マネージャーを使用する場合、Live コネクション・マネージャーを確実に構成し、正しく実行するようにしてください。データベース言語環境を使用する場合は、データベース管理者に確認してください。

DTWF021I Net.Data は組み込み変数
<variable_name> の値を置き換えま
した。

説明: Net.Data が上述の組み込み変数のユーザー設定値をオーバーライドしました。

ユーザーの処置: 通常、組み込み変数は読み取り専用で設計されているので、組み込み変数が不慮のオーバーライドを受けないようにして再試行してください。

DTWF022E Net.Data は無効な表名
<table_name> を検出しました。

説明: 変数 DTW_SAVE_TABLE_IN の値が無効な表名です。

ユーザーの処置: 変数 DTW_SAVE_TABLE_IN に有効な表名が入るようにして再試行してください。

DTWF023E Net.Data は SQL ステートメント
<SQL_stmt> を実行することができ
ません。

説明: Net.Data が上述の SQL ステートメントを実行できませんでした。

ユーザーの処置: データベース・エラー・メッセージとともに SQL ステートメントをチェックして再試行してください。

DTWF031I Net.Data は変数定義の脱落を検出
しました。

説明: Net.Data が一時巡回表から巡回変数を削除しようと試みました。しかし、この変数は存在しないか既に削除されています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF032I Net.Data は DLL <DLL_name> をロードすることができません。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。メモリー不足の可能性があります。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF033I Net.Data は DLL <DLL_name> の実行処理アドレスを見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の DLL をロードするためにアドレスを見つけようと試みました。メモリーが破壊されているか、ポインターに無効なアドレスが含まれています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF034I Net.Data はデータベース接続をクローズすることができません。

説明: データベースが存在しないか、既にクローズされている可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF036I データベースの ROLLBACK ができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。たとえば、アプリケーションがデータベース表に 10 行挿入しようと試みる場合、成功するとコミットします。なんらかの理由ですべてを挿入することができない場合、ジョブを取り消すためのロールバックを試みますができませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF037E Net.Data は予期しない NULL コマンドを実行で検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF038I Net.Data は <name> で NULL ポインターを検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。新規演算子が NULL 値を戻したか、メモリー不足の可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF039I Net.Data はデータベースから次のレコードを取り出すことができませんでした : <error_trace_info>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF040I Net.Data はデータベース・カーソルをクローズすることができませんでした : <error_trace_info>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF041I Net.Data はグローバル別名表を検出することができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF043I **Net.Data** 関数 **process_output** は **RETURN_CODE** 変数を見つけることができませんでした。関数の戻りコードとして、**NULL** スtring が使用されました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF045I **Net.Data** は **DLL** <DLL_name> の実行処理アドレスを見つけることができません : <error_info>

説明: Net.Data が上述の DLL をロードするためにアドレスを見つけようと試みました。メモリーが破壊されているか、ポインターに無効なアドレスが含まれています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF046E **Net.Data** は無効な言語環境 <lang_envir_name> を検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が INI ファイルに無効な言語環境ステートメントを検出しました。

ユーザーの処置: 詳細については、*Net.Data* 言語環境解説書 を参照してください。有効な言語環境を指定して再試行してください。

DTWF047E **Net.Data** はタイプ <lang_envir_name> の言語環境で関数を実行することができませんでした (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF048I **Net.Data** は変数 <variable_name> の変数定義の脱落を検出しました。

説明: Net.Data が一時巡回表から上述の巡回変数を削除しようと試みました。しかし、この変数は存在しないか既に削除されています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF049E **Net.Data** は条件ステートメントで無効な入力を検出しました。

説明: Net.Data が %IF あるいは %ELSEIF 条件ステートメントに含まれる入力が誤りであると判別しました。

ユーザーの処置: 構文情報については、*Net.Data* 解説書 を参照してください。条件ステートメントを訂正して再試行してください。

DTWF050E **Net.Data** は **URL** で **HTML** または **XML** ブロック指定を見つけることができません。

説明: URL に HTML または XML ブロックが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 有効な HTML または XML ブロックを指定して再試行してください。

DTWF051E **Net.Data** はフォーム・データのストアード・プロシーチャー・パラメーター・リストで誤ったパラメーターのパス指定を検出しました。パラメーターのパス指定 <parameter_passing_specification> は **IN**、**OUT**、あるいは **INOUT** のいずれかである必要があります。

説明: ストアード・プロシーチャー・パラメーター・リストの使用法指定は、**IN**、**OUT**、または **INOUT** のいずれかのキーワードでなければなりません。

ユーザーの処置: 使用法指定を訂正してください。

DTWF052E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシージャー・パラメーター・リストでタイプ指定が脱落していることを検出しました。

説明: ストアード・プロシージャーには、データ・タイプの指定が含まれていなければなりません。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャーを訂正してデータ・タイプを指定してください。

DTWF053E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシージャー・リストでパラメーター値が脱落していることを検出しました。

説明: ストアード・プロシージャーの入力パラメーターの値が脱落しています。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャーを訂正して値を指定してください。

DTWF054E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシージャー・リストにあるパラメーター値の終わりに引用符が脱落していることを検出しました。

説明: パラメーター値は始まっていますが、引用符で終わっていません。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正して、その終わりに引用符を入れてください。

DTWF055E Net.Data はフォーム・データで無効なパラメーター・リストを検出しました。

説明: 関数呼び出しのパラメーター・リストは無効です。

ユーザーの処置: パラメーター・リストを訂正してください。

DTWF056E Net.Data はフォーム・データの **SQL** あるいは **FUNC** 項目が空であることを検出しました。

説明: 項目 **FUNC** あるいは **SQL** には、関数呼び出しまたは **SQL** 照会を指定しなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データの項目 **FUNC** または **SQL** に、関数呼び出しまたは **SQL** 照会を指定してください。

DTWF057I Net.Data は以下のデータベースからの次の結果セットの検索に失敗しました: `<error_trace_info>`

説明: **Net.Data** が、データベースから次の結果セットを検索中にエラー発生しました。

ユーザーの処置: データベースのエラー・メッセージをチェックしてください。また、**SQL** ステートメントが結果セットの数を正しく戻しているかも確認してください。

DTWF058I Net.Data は関数 `<function_name>` のパラメーター・リスト内に、**IN** パラメーターとして表を検出しました。

説明: **Net.Data** 関数がデータベース言語環境に接続する場合は、**Net.Data** の表をその関数に引き渡すことはできません。

ユーザーの処置: 関数のパラメーター・リストを変更してください。

DTWF059I Net.Data は直接要求が使用できないためこの要求を実行することができません。

説明: 直接要求が使用できません。

ユーザーの処置: **URL** がエラーでない場合に

は、Net.Data の初期設定ファイルにある DTW_DIRECT_REQUEST を「yes」に設定してください。

DTWF060I 共用ライブラリー内の関数を見つけることができません : <library>

説明: Net.Data は、言語環境共用ライブラリーをロードすることができません。

ユーザーの処置: このライブラリーのシステムに対する依存性をチェックしてください。

DTWG000I Net.Data は関数 <function_name> で、既存の登録 <registry_name> を検出しました。

説明: 上述の登録名は、既に他の登録名の定義に使用されています。指定する登録名は固有のものでなければなりません。

ユーザーの処置: 最初に上述の登録変数を除去しておくか、固有の登録名を指定して再試行してください。

DTWG001E Net.Data は関数 <name> で、登録 <name> を見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の登録を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の登録が存在しないか、他の処理で使用中です。有効な登録を指定して再試行してください。

DTWG005I Net.Data は関数 <function_name> で、要求された登録操作 <operation_name> を実行することができません。

説明: ユーザーのユーザー ID には要求された登録操作を実行するために必要な許可がないために、登録操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 適切な許可を入手して再試行してください。

DTWH000I Net.Data はキャッシュ・マネージャー・インターフェースで内部エラーを検出しました。

説明: Net.Data はキャッシュ・マネージャー・インターフェースで内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWH001E Net.Data は無効なキャッシュ名 <name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のキャッシュ名を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、キャッシュ名を訂正して再試行してください。

DTWH002E Net.Data はキャッシュ関数へのパラメーター数が不十分であることを検出しました。

説明: Net.Data のキャッシュ関数を呼び出す際に、使用したパラメーターの数が足りませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、関数呼び出しを訂正して再試行してください。

DTWH003E Net.Data はキャッシュ関数に対して提供されたパラメーターが多すぎることを検出しました。

説明: Net.Data のキャッシュ関数を呼び出す際に、指定したパラメーターの数が多すぎました。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、関数呼び出しを訂正して再試行してください。

DTWL000E Net.Data は関数 <function_name> のパラメーター <parameter_name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターに無効なデータ・タイプ値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL001E Net.Data は関数 <name> の変数 <name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の変数で無効値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL002E Net.Data は行番号 <number> の同一関数に対する別のパラメーター・リストを検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数に異なるパラメーター・リストがあることを検出しました。指定される関数は同一のパラメーター・リストを持つ必要があります。

ユーザーの処置: 上述の関数のパラメーター・リストを訂正して再試行してください。

DTWL003E Net.Data は %FUNCTION ステートメント <name> で、データ・タイプ・パラメーターが脱落していることを検出しました。

説明: Net.Data は、SQL ストアード・プロシージャの呼び出しに使用するマクロで、必要なデータ・タイプ・パラメーターを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルの %FUNCTION(DTW_SQL) ステートメントをチェックしてください。SQL ストアード・プロシージャに渡される各変数には、それに対して定義さ

れたデータ・タイプがあるようにしてください。

DTWL004E Net.Data は、パラメーター値 <parameter_name> が関数 <function_name> の表境界の外側にあることを検出しました。

説明: 以下のいずれかの条件が存在します。プログラムが表の行または列の値を変更しようとしたが、受け取った行または列の値が 0 より小さいか、表で許可された行の最大数より大きかった場合、あるいは、組み込み関数に対する入力として行または列の値を受け取ったが、受け取った値が 0 より小さいか、表の行または列の現在の数より大きかった場合です。

ユーザーの処置: 上述の値が 0 より小さかったり、表の現在の行数より大きかったりしないようにしてください。

DTWL005E Net.Data は関数 <variable_name> の表変数 <variable_name> にある要求されたデータのすべてを戻すことができません。

説明: 表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

DTWL006E Net.Data は関数 <function_name> でサポートされる最大バイト数を越えたデータの行を読み取ろうとしました。

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数は、サポートされる最大バイト数を行のバイト数が超えたために、データ行を表変数に読み取ることができませんでした。この表は Net.Data で処理するには大きすぎます。

ユーザーの処置: エラーを修正して再試行してください。

DTWL007E Net.Data は FFI_PATH で指定されたパスが、関数 <function_name> でサポートされる最大バイト数を超えていることを検出しました。

説明: フラット・ファイル・インターフェース用の組み込み関数は、ファイルの検出を試みましたが、FFI_PATH 構成ファイル変数で指定されたパスが、サポートされる最大バイト数の 4095 を超えていることがわかりました。

ユーザーの処置: FFI_PATH ステートメントを、Net.Data が現在のアプリケーションで必要とするディレクトリーだけに短くしてください。

DTWL008E Net.Data は関数ブロック <block_name> で算術桁あふれあるいは下位桁あふれを検出しました。

説明: 算術演算の結果、-999,999,999 から +999,999,999 までのサポート範囲から外れる指数が算出されました。

ユーザーの処置: 計算値がサポートされる範囲にとどまるようにしてください。

DTWL009E Net.Data は関数ブロック <block_name> で空の EXEC ステートメントを検出しました。

説明: 関数ブロックの EXEC ステートメントに指定したストリングに、スペース文字しか含まれていません。

ユーザーの処置: 全桁スペース以外のストリングを指定して再試行してください。

DTWL010E Net.Data は関数ブロック <block_name> で EXEC ステートメントの脱落を検出しました。

説明: 呼び出された関数の関数ブロックで EXEC ステートメントが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: FUNCTION ブロックに EXEC ステートメントを追加して再試行してください。

DTWL011E Net.Data は無効な言語環境タイプあるいは DLL <DLL_name> を検出しました。

説明: マクロ・ファイルの Net.Data 指定言語環境タイプあるいは DLL 名は、Net.Data 構成ファイルで定義されていなければなりません。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルおよび Net.Data 構成ファイル db2www.ini をチェックして再試行してください。

DTWL012I Net.Data は関数 <function_name> で内部障害を起こしました。障害コードは <failure_code_value> です。

説明: Net.Data は上述の関数で内部障害を起こしました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWL013I Net.Data は関数 <function_name> にメモリーを割り振ることができません。

説明: サーバーが Net.Data からの記憶域要求を処理できませんでした。

ユーザーの処置: これは、サーバーにおける一時的な状態である場合があります。この問題が続く場合、追加のメモリーを購入する必要があります。

DTWL015E Net.Data は関数 <function_name> で無効な表パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは表で無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 表パラメーター値についての詳細は、*Net.Data* 解説書を参照してください。正しいパラメーター・タイプを指定して再試行してください。

DTWL016E Net.Data は関数 <function_name> で無効なストリング・パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効なストリングであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しいストリング・パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL017E Net.Data は関数 <function_name> で無効な出力パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL018E Net.Data は関数 <function_name> のパラメーター <parameter_name> で NULL 値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターに NULL 値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに NULL 値がないようにして再試行してください。

DTWL019E Net.Data は行番号 <number> で無効な出力パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

**DTWL021I Net.Data は関数 <function_name> で内部エラーを起こしました
:<additional_information>**

説明: システム関数への呼び出しが失敗しました。これは Net.Data へ報告される内部エラーで、ユーザーの対応を必要とする場合があります。あるいは、Net.Data で処理するのは不適切な一時的なシステム・エラーである可能性もあります。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。この問題が続く場合、システム管理者に報告してください。

DTWL022E Net.Data はファイル <file_name> で関数 <function_name> を処理することができません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、おそらくは誤った許可が原因でオープンできないために、Net.Data がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在し、Net.Data に適切な権限があることを確認してから再試行してください。

DTWL023E Net.Data は関数 <function_name> で無効なパラメーター数を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターの数が無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWL024E Net.Data は関数 <function_name> で要求されたすべてのデータを戻すことができません。

説明: 表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

DTWL025E Net.Data は関数 <function_name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数で無効値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL026E Net.Data は関数 <function_name> で NULL 値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数で NULL 値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに NULL 値がないようにして再試行してください。

DTWL027E Net.Data は関数 <function_name> で無効なストリング・パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効なストリングであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しいストリング・パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL028E Net.Data は関数 <function_name> で無効な表パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な表であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい表パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL029E Net.Data は関数 <function_name> で無効な出力パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data がパラメーターが無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL031E 指定された SMTP サーバー <SMTP_server> に到達できません。

説明: Net.Data は、指定された SMTP サーバーに接続できません。

ユーザーの処置: ホスト名または IP 番号を正しく指定しているか確認してください。SMTP サーバーは、指定されたホストのポート 25 で実行してなければなりません。

DTWL032I 指定された SMTP サーバーと通信中に、SMTP サーバーは次のエラー・メッセージを戻しました :
<SMTP_error_message>

説明: Net.Data が電子メール・メッセージを指定された SMTP サーバーへ中継する間に、SMTP エラーが発生しました。

ユーザーの処置: DTW_SENDMAIL を有効なパラメーターで呼び出しているか確認してください。

DTWL033I 指定された SMTP サーバーとの接続が失われました。

説明: Net.Data が電子メール・メッセージを SMTP サーバーへ中継する間に、指定された SMTP サーバーへの TCP/IP 接続が失われました。

ユーザーの処置: 指定された SMTP サーバーが実行していることを確認し、再試行してください。

DTWL034E 指定された SMTP サーバーは拡張シンプル・メール転送プロトコル (ESMTP) をサポートしませんが、指定された電子メール・メッセージは U.S. ASCII 文字以外を含んでいます。

説明: Net.Data は、8 ビット文字を含む電子メール・メッセージを、7 ビット文字のみをサポートする SMTP サーバーに中継することはできません。

ユーザーの処置: ESMTP (8BITMIME) をサポートする SMTP サーバーを指定するか、あるいは、電子メール・メッセージに U.S. ASCII 文字以外は使用しないようにします。

DTWL035I Net.Data 関数 DTW_GETCOOKIE は、存在しない Cookie <cookie name> の検索を試みました。

説明: 次のいずれかの理由のため、Cookie は見つかりません。

- Cookie が設定されていません。
- Cookie の有効期限が切れています。
- Cookie には有効期限がありませんが、永続的ではありません。Cookie を受け入れた Web ブラウザーが終了したか、強制終了されました。
- Cookie にセキュア・オプションが設定されており、現行の HTTP 要求は、非セキュア・チャンネル上から送信されてきました。

- 設定された Cookies 要求が実行依頼された際に、Web ブラウザーが Cookies を受け入れなかったか、スクリプト・プログラムを実行しませんでした。
- Cookies の個数がブラウザーの制限を超えたため、その Cookie は Web ブラウザーにより削除されました。

<http://home.netscape.com#46;>

ユーザーの処置: MESSAGE ブロックを使用して、Cookie が見つからない状態 (RETURN_CODE 8000) を処理するか、または、Cookie 名が正しく指定されているか確認してください。

DTWL036E Sendmail は DTW_SENDMAIL 添付 <file_name> をオープンすることができません。

説明: Net.Data は、指定された接続をオープンすることができませんでした。これは、その接続が存在しないか、その接続をオープンする許可が Net.Data にないためです。

ユーザーの処置: 有効な接続パスおよびファイル名を指定し、Net.Data に適切な許可があることを確認して、再試行してください。

DTWL037I Net.Data は Net.Data 変数を持つには大きすぎるファイル <filename> を読み取ろうとしました。

説明: DTWF_READFILE がファイルを読み込もうとしましたが、大きすぎて Net.Data 変数に保持できませんでした。変数の長さの制限については、Net.Data 解説書を参照してください。

ユーザーの処置: ファイルの大きさを Net.Data 変数の制限以内にしてください。読み取る前に、ファイルを小さく分割することができます。

DTWL040I Net.Data はファイル <file_name> から読み取ることはできません。

説明: Net.Data は、DTWF_READFILE のファイル・パラメーターに指定されたファイルを読み取ることができません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しているかどうか、および関数で正しいつづりが指定されているかどうかを確認してください。また、FFI_PATH に正しいパスが指定されているかどうかを確認してください。

DTWL041I Net.Data はファイルのアップロード要求を完了することができません : <request>

説明: Net.Data は、ブラウザからサーバーへのファイルのアップロードを完了できませんでした。

ユーザーの処置: Net.Data 初期設定ファイルで、DTW_UPLOAD_DIR 構成変数に正しいパスが設定されているかどうかをチェックしてください。

DTWP000E Net.Data は LIST 定義エラー <file> を検出しました。

説明: Net.Data が、事前に宣言されたとおりに上述の %LIST を定義することができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の %LIST の名前を固有の名前に変更して再試行してください。

DTWP001E Net.Data はマクロ・ファイル <macro_name> を見つけることができません。

説明: 上述のマクロ・ファイルが存在しないか、Net.Data がオープンできなかったために、Net.Data が上述のマクロ・ファイルを見つけれませんでした。

ユーザーの処置: 有効なマクロ・パスおよびマク

ロ・ファイル名を指定して再試行してください。

DTWP003E Net.Data は重複した HTML または XML ブロック名 <block_name> <file> を検出しました。

説明: Net.Data は重複指定された HTML または XML ブロックが存在するために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の重複した HTML または XML ブロック名を固有の名前に変更して再試行してください。

DTWP005E Net.Data は不当なシンボル <symbol_name> <file> を検出しました。

説明: Net.Data は上述の不当なシンボルを検出したために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルから上述の不当なシンボルを取り除いて、再試行してください。

DTWP006E Net.Data は予期しないマクロ・ファイル <macro_name> の終わりを検出しました。

説明: Net.Data は予期しないファイルの終わりを検出したために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: すべての Net.Data ブロックが %} で終わるようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP007I Net.Data は %INCLUDE_URL アドレス <URL_address> を処理することができません。

説明: Net.Data は、URL が到達不能が無効であったため、%INCLUDE_URL アドレスの指定する URL を組み込むことができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の %INCLUDE_URL が確実に存在するようにしてください。また、Web サーバーが実行中であるようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP009E Net.Data は複数の行にまたがった引用符付き文字列 <string_name> を検出しました。

説明: 引用符付き文字列は複数の行にまたがることはできません。

ユーザーの処置: 文字列が、同一行上で引用符に囲まれるようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP010I Net.Data はファイル <file_name> で %INCLUDE ステートメントを処理することができません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、Net.Data がオープンできなかったために、Net.Data が %INCLUDE ステートメントを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在するようにしてください。また、Net.Data に読み取り権限を与えてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP011I Net.Data はファイルあるいは URL <file_or_URL_name> で、ネストが深すぎるため、%INCLUDE あるいは %INCLUDE_URL ステートメントを処理することができません。

説明: Net.Data は、ファイルまたは URL のネストが深すぎるため、%INCLUDE あるいは %INCLUDE_URL ステートメントを処理することができませんでした。ネストする %INCLUDE ステートメントまたはブロックの最大数は 10 です。

ユーザーの処置: 上述の %INCLUDE ファイルまたは %INCLUDE_URL で、ネストされた深さ

が 10 以上の他ファイルを組み込まないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP013I Net.Data は D2Wtable_ErrRange で例外を起こしました。
<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWP014I Net.Data は D2Wtable_ErrNoMemory で例外を起こしました。<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWP015I Net.Data は D2Wtable_ErrInvalid で例外を起こしました。
<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWP016I Net.Data は D2Wtable_ErrTooBig で例外を起こしました。
<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWP018E Net.Data は行番号 <number> の SQL コマンドにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が SQL コマンドにないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP019E Net.Data は行番号 <number> の Net.Data システム変数にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が Net.Data のシステム変数にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP020E Net.Data は行番号 <number> の他の EXEC 変数定義にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が別の EXEC 変数定義にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP021E Net.Data は行番号 <number> の条件付きストリングにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が条件付きストリングにないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP022E Net.Data は行番号 <number> のリスト変数にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数がリスト変数にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP023E Net.Data は行番号 <number> の EXEC_SQL ステートメントにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が EXEC_SQL ステートメント名にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP025E Net.Data は ELSEIF/ELSE/ELIF を想定しましたが IF <name> を検出しました。

説明: ネストされた %IF 構造が無効です。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP026E Net.Data はネストが深すぎる IF ステートメントを検出しました。
<name>

説明: 互いにネストできる IF ステートメントは 1024 だけです。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP027E Net.Data は一致していない ELSEIF/ELSE/ELIF <name> を検出しました。

説明: 対応する IF 部分のない ELSEIF/ELSE/ELIF 部分があります。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP028E Net.Data は一致していない ENDIF <name> を検出しました。

説明: 対応する IF ステートメントのない ENDIF ステートメントがあります。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP029E Net.Data はファイル <file> で HTML または XML ブロック <block_name> を見つけることができません。

説明: マクロ・ファイルに上述の HTML または XML ブロックが存在しないか、HTML または XML ブロックが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 有効な HTML または XML ブロックを指定して再試行してください。

DTWP030E Net.Data は関数 <function_name> に複数の %REPORT ブロックを検出しました。

説明: Net.Data のリリース 2 は、複数の %REPORT ブロックを DB2 用にのみサポートしています。

ユーザーの処置: 関数の中で、%REPORT ブロックは 1 つだけ使用してください。

DTWP031E Net.Data は複数の行にまたがった変数参照 <string_name> を検出しました。

説明: 変数参照は複数の行にまたがることはできません。

ユーザーの処置: 変数参照の始まりと終わりが、同一行になるようにします。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWQ000I Net.Data は指定されたプランを実行するための DB2 リソースを割り振るときにエラーを検出しました :
<plan_name> (SSID =
<subsystem_id>、
戻りコード = <return_code>、
理由 = <addition_information>)

説明: Net.Data が OPEN コマンドの処理中にエラーを検出しました。詳細については、DB2 メッセージおよびコードを参照してください。

ユーザーの処置: DB2 のプラン名とサブシステム ID が正しいかどうか妥当性検査を行ってください。

DTWQ001I Net.Data は DB2 リソースの割り振りを解除するときにエラーを検出しました :
戻りコード = <return_code>、
理由 = <additional_information>

説明: Net.Data が CLOSE コマンドの処理中にエラーを検出しました。詳細については、DB2 メッセージおよびコードを参照してください。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに通知してください。

DTWQ002I Net.Data は関数 exec_start で SQLDA を割り振ることができません。

説明: Net.Data はメモリー不足で、関数 exec_start で SQLDA を割り振ることができません。

ユーザーの処置: 十分なメモリーを解放して再試行してください。

DTWQ003I Net.Data は関数 exec_start で SQLDA ホスト変数を割り振ることができません。

説明: Net.Data はメモリー不足で、関数 exec_start で SQLDA ホスト変数を割り振ることができません。

ユーザーの処置: 十分なメモリーを解放して再試行してください。

DTWQ005I Net.Data ODBC 言語環境は環境割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ006I Net.Data ODBC 言語環境は接続割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ007I Net.Data ODBC 言語環境はステートメント割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ008I Net.Data ODBC 言語環境は CLI 初期設定ファイルのロードでエラーを起こしました :
return_code = <return_code>、
error_code = <error_code>、
info_code = <info_code>

説明: Net.Data 構成ファイルの変数 DSNAINI に無効なデータ・セットが指定されています。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・セットが順次データ・セットであるかどうか、あるいは区分データ・セットのメンバーであるかどうかを検証してください。また、それが有効な CLI 初期設定ファイルを指しているかどうか、ユーザーに適切な READ (読み取り) 権限があるかどうかを検証してください。

DTWQ009I Net.Data ODBC 言語環境は DSNAOTRC の実行でエラーを起こしました :
return_code = <return_code>、
error_code = <error_code>、
info_code = <info_code>

説明: Net.Data 構成ファイルの変数 DSNAOTRC に無効なデータ・セットが指定されています。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・セットが順次データ・セットであるかどうか、ユーザーに適切な UPDATE 権限があるかどうかを検証してください。

DTWQ010E Net.Data は無効なデータ・タイプ
<sql_typ_name> を検出しました。

説明: Net.Data が無効な SQL データ・タイプを検出しました。

ユーザーの処置: 有効な SQL データ・タイプを指定して、再試行してください。各オペレーティング・システムに有効な SQL データ・タイプのリストについては、*Net.Data* オペレーティング・システム 解説書 付録 C を参照してください。

DTWQ011I Net.Data は SSID <ssid_name> を
指定した DB2 への接続の初期化で
エラーを起こしました :
return_code =
<return_code_name>、reason_code
= <reason_code_name>

説明: Net.Data が DB2 コネクションの初期化で IDENTIFY を処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2* メッセージおよびコード を参照してください。

ユーザーの処置: DB2 サブシステムの ID が正しいか、また活動状態になっているか妥当性検査を行ってください。

DTWQ012I Net.Data は SSID <ssid_name> を
指定した DB2 接続へのユーザー
<user_name> の割り当て中にエラ
ーを起こしました : return_code
= <return_code_name>、
reason_code =
<reason_code_name>

説明: Net.Data が DB2 コネクションへの新規の許可 ID の割り当てで SIGNON の処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2* メッセージおよびコード を参照してください。

ユーザーの処置: ユーザーが DB2 への接続許可を受けているか妥当性検査をしてください。

DTWQ013I Net.Data はプラン <plan_name>
と SSID <ssid_name> を指定した
DB2 リソースの割り振り中にエラ
ーを起こしました : return_code
= <return_code_name>、
reason_code =
<reason_code_name>

説明: Net.Data が SQL の発行に必要な DB2 リソースの割り振り、CREATE THREAD の処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2* メッセージおよびコード を参照してください。

ユーザーの処置: DB2 のプラン名が正しいかどうか、また、プランに正しい DBRM がバインドされているかどうか妥当性検査をおこなってください。

DTWQ014I Net.Data は SSID <ssid_name> を
指定した DB2 への接続の更新中に
エラーを起こしました :
return_code = <return_code>、
reason_code = <reason_code>

説明: Net.Data が上述のサブシステム ID への切り替え中にエラーを起こしました。

ユーザーの処置: DB2 サブシステムがまだ活動状態であるかどうか検証してください。

DTWQ015I Net.Data は DB2 エラーを検出
しました :
SQL コード = <SQL_code>、
理由コード = <reason_code>

説明: おそらく新規演算子がメモリー不足のために NULL を戻します。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWQ016I Net.Data は SQL または ODBC バックエンド内に無効な SQL ハンドルを検出しました。

説明: Net.Data は、SQL または ODBC 言語環境で無効な SQL ハンドルを検出しました。

ユーザーの処置: データベースまたは ODBC 接続をチェックしてください。

DTWQ017E Net.Data は関数 <function_name> 内に無効なストアード・プロシージャ呼び出しを検出しました。

説明: ストアード・プロシージャ呼び出しの構文が正しくありません。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャ呼び出しステートメントの構文が正しいか確認してください。

DTWQ018E Net.Data は関数 <function_name> 内のストアード・プロシージャ呼び出し内に無効なパラメーター・リストを検出しました。

説明: ストアード・プロシージャ呼び出しにあるパラメーター・リストの構文が正しくありません。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャ CALL ステートメントにあるパラメーター・リストの構文が正しいか確認してください。

DTWQ019E Net.Data は関数 <function_name> 内でストアード・プロシージャの出力表である入力表を検出しました。

説明: Net.Data は、入力パラメーター表に書き込みできません。

ユーザーの処置: 関数パラメーター・リストに、表パラメーターを「出力」パラメーターとして宣言してください。

DTWQ020E Net.Data 関数 <function_name> でストアード・プロシージャ名の脱落を検出しました。

説明: Net.Data は、ストアード・プロシージャ呼び出し内のストアード・プロシージャ名を見つけれません。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャ呼び出しステートメントに名前があるか確認してください。

DTWQ021E Net.Data は関数 <function_name> 内のストアード・プロシージャ呼び出し内に多すぎる結果セットを検出しました。

説明: 1 つのストアード・プロシージャ内の結果セットの数は、32 個までに制限されています。

ユーザーの処置: ストアード・プロシージャ呼び出しを変更してください。

DTWQ022E Net.Data は関数 <function_name> 内に 1 つ以上の %REPORT ブロックに付加された表を検出しました。

説明: Net.Data 関数では、表ごとに 1 つの %REPORT ブロックのみ許可されています。

ユーザーの処置: %REPORT ブロックは、表ごとに 1 つだけ使用してください。

DTWQ023E Net.Data は関数 <function_name> 内のストアード・プロシージャ呼び出し内に指定されていない結果セットを検出しました。

説明: Net.Data は、ストアード・プロシージャ呼び出しステートメントでリストされている表と一致しない表名を含む %REPORT ブロックを見つけました。

ユーザーの処置: %REPORT にある表名と、ス

トアード・プロシーチャー呼び出しステートメントにリストされている表を確認してください。

DTWQ024E Net.Data は関数 <function_name> 内に複数の %REPORT ブロックを検出しましたが、少なくとも 1 つの %REPORT ブロックが表名を指定し、その他のブロックは表名を指定していません。

説明: 複数の %REPORT ブロックがあり、最初の %REPORT ブロックで表名を指定する場合は、残りのブロックでも指定しなければなりません。最初の %REPORT ブロックで表名を指定しない場合は、どのブロックでも表名を指定しません。

ユーザーの処置: 関数内のすべての %REPORT ブロックに表名があるか、あるいは、すべてにないかを確認してください。

DTWQ025I Net.Data は LOB のために一時ファイルを作成することはできません。

説明: Net.Data は、HTML_PATH に指定されたディレクトリーの tmplobs サブディレクトリーで、一時ファイルの作成に失敗しました。

ユーザーの処置: Net.Data 初期設定ファイルに HTML_PATH が設定されており、HTML_PATH に tmplobs ディレクトリーが存在しているかどうかを確認してください。また、そのディレクトリーでのファイルの作成が Net.Data に許可されているかどうかを確認してください。

DTWQ026I Net.Data は LOB のために一時ファイルをオープンすることができません。

説明: Net.Data は、HTML_PATH に指定されたディレクトリーの tmplobs サブディレクトリーで、一時ファイルのオープンに失敗しました。

ユーザーの処置: Net.Data 初期設定ファイルに

HTML_PATH が設定されており、HTML_PATH に tmplobs ディレクトリーが存在しているかどうかを確認してください。また、そのディレクトリーでのファイルの作成が Net.Data に許可されているかどうかを確認してください。

DTWQ027I Net.Data は LOB からのデータを取得することはできません。

説明: データベース・サーバーからの GetData 呼び出しが、この LOB 列のデータを戻すことに失敗しました。

ユーザーの処置: この特定の LOB 列に対するデータベース・アクセスをチェックしてください。

DTWQ028I Net.Data は結果セットが最大数を超えていることを検出しました。

説明: マクロが同時に処理できる結果セットの最大数は 32 です。

ユーザーの処置: 同時に 32 個の結果セットしか処理しないようにマクロを再作成してください。

DTWQ029I Net.Data は空の結果セットに遭遇しました。

説明: 空の結果セットが戻されました。

ユーザーの処置: 必要な処置はありません。このメッセージが表示されないようにするには、MESSAGE ブロックを使用して SQLCODE 100 を取り込み、何も戻さないようにしてください。

DTWQ030I Net.Data は実行のためのデータが必要です。

説明: これは 内部エラーです。

ユーザーの処置: Net.Data サービスに連絡して、このエラーを報告してください。

DTWR000I Net.Data は SQL コード
<sql_code_value>、
<additional_information> の Oracle
メッセージにアクセスすることがで
きません。

説明: Net.Data が上述の Oracle メッセージにアクセスできませんでした。Oracle 環境が正しく設定されていないか、エラー・メッセージ・ファイルにアクセスできません。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Oracle の管理者に連絡してください。

DTWR001E DTW_ORA 言語環境は複数の結果
セットをサポートしません。

説明: DTW_ORA 言語環境は、複数の結果セットをサポートしていません。

ユーザーの処置: 複数の結果セットを生成する DTW_ORA 言語環境関数ブロックから、SQL ステートメントをすべて削除してください。

DTWU000E Net.Data は API を介してサーバ
ーから環境変数を入手することがで
きません : <variable_name>

説明: Net.Data は API を介してサーバーから環境変数を入手することができません。サーバーの構成ファイルをチェックし、Net.Data API プラグインを正しく使用可能にしているか確認してください。

ユーザーの処置: Net.Data を API プラグイン・モードで実行する場合、サーバーの構成ファイルでそのモードを正しく指定しなければなりません。「Net.Data 管理およびプログラミングの手引き」を参照して再試行してください。

DTWU001I Net.Data は NSAPI を介して
Netscape サーバーからメモリー・
スペースを割り振ることができませ
ん。

説明: Net.Data を NSAPI プラグイン・モードで実行する場合、Net.Data は NSAPI のメモリー管理ルーチンを介して Netscape サーバーからメモリーを割り振ります。サーバーが Net.Data にこれ以上のメモリー・スペースを割り振ることができません。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

DTWU003E Net.Data は API を介してサーバ
ーから環境変数を入手することがで
きません。

説明: Net.Data は API を介してサーバーから環境変数を入手することができません。サーバーの構成ファイルをチェックし、Net.Data API プラグインを正しく使用可能にしているか確認してください。

ユーザーの処置: Net.Data を API プラグイン・モードで実行する場合、サーバーの構成ファイルでそのモードを正しく指定しなければなりません。「Net.Data 管理およびプログラミングの手引き」を参照して再試行してください。

DTWV000E Net.Data マクロ servlet は無効な
マクロ名を検出しました。

説明: Net.Data マクロ servlet の指定マクロ名が NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data マクロ servlet には、有効な完全修飾された Net.Data マクロ名を指定する必要があります。

ユーザーの処置: <MACRO> パラメーターを使用して有効なマクロ名を指定し、再試行してください。

DTWV001E Net.Data マクロ servlet は無効な HTML または XML ブロック名を検出しました。

説明: Net.Data マクロ servlet に指定された HTML または XML ブロック名が NULL またはブランクです。Net.Data マクロ servlet には、指定の Net.Data マクロで実行する有効な HTML または XML ブロック名が必須です。

ユーザーの処置: 指定の Net.Data マクロに、`<BLOCK>` パラメーターを使用して有効な HTML または XML ブロック名を指定してください。

DTWV007E Net.Data 関数 servlet は無効な言語環境を検出しました。

説明: Net.Data 関数 servlet の指定言語環境が NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data 関数 servlet には、有効な Net.Data 言語環境を指定する必要があります。

ユーザーの処置: `<LANGENV>` パラメーターを使用して有効な言語環境を指定し、再試行してください。

DTWV008E Net.Data 関数 servlet は無効な関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャー名を検出しました。

説明: Net.Data 関数 servlet で指定された関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャー名が、NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data 関数 servlet には、有効な関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャー名を指定する必要があります。

ユーザーの処置: `<FUNC>` パラメーターを使用して有効な関数名を指定するか、`<SQL>` パラメーターを使用して有効な SQL ステートメント / ストアド・プロシージャー名を指定して、再試行してください。

DTWV011E Net.Data servlet は無効な HTML パスを検出しました。

説明: 指定された Net.Data servlet HTML パスが、NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data servlet には、有効な、完全修飾された Web サーバー HTML パスを指定する必要があります (例: "c:\ibmwww\html")。

ユーザーの処置: `<HTMLPATH>` パラメーターを使用して有効な HTML パスを指定し、再試行してください。

DTWV012E Net.Commerce あるいは Net.Data マクロ servlet の固有方式により Net.Data へ渡される出力バッファが小さすぎます。もっと大きなバッファに渡してください。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWX000E Net.Data REXX 言語環境は、REXX ステートメントの実行でエラーを起こしました。

説明: DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトで、無効な REXX ステートメントが見つかりました。

ユーザーの処置: DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトのすべての REXX ステートメントが有効かどうか検証してください。

DTWX001E Net.Data REXX 言語環境は、結果ファイルの処理でエラーを起こしました。

説明: Net.Data が、DTWGENOU モジュールで生成された予期しないトークンを結果ファイル中に検出しました。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

DTWX002I Net.Data REXX 言語環境は、OpenEdition MVS REXX 環境の設定でエラーを起こしました。

説明: Net.Data はモジュール BPXWRBLD を取り出して OE MVS REXX 環境を作成できませんでした。

ユーザーの処置: モジュール BPXWRBLD が環境中で使用できるかどうか検証してください。

DTWX003I Net.Data REXX 言語環境は、OpenEdition MVS REXX 環境の作成でエラーを起こしました :
return_code = <return_code>

説明: Net.Data が OE MVS REXX 環境を作成できませんでした。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

DTWX004I Net.Data REXX 言語環境は、関数に対するメモリーの割り振りができませんでした。

説明: Net.Data がすべての REXX 変数にメモリーを割り振れませんでした。DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトの中の変数が多すぎます。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

**DTWY000I Net.Data は SQL コード
<sql_code_value>、
<additional_information> の
Sybase メッセージにアクセスすることができません。**

説明: Net.Data が上述の Sybase メッセージにアクセスできませんでした。Sybase 環境が正しく設定されていないか、エラー・メッセージ・ファイ

ルにアクセスできません。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Sybase の管理者に連絡してください。

DTWY001E DTW_SYB 言語環境は、複数の結果セットをサポートしません。

説明: DTW_SYB 言語環境は、複数の結果セットをサポートしていません。

ユーザーの処置: 複数の結果セットを生成する DTW_SYB 言語環境関数ブロックから、SQL ステートメントをすべて削除してください。

DTWZ000I マクロ・ファイルは ACL ファイルに出現しないため、マクロ・ファイルへのアクセスは禁止されています。

説明: マクロ・ファイルが ACL ファイルにリストされていないため、アクセスが禁止されています。

ユーザーの処置: ACL ファイルにファイルを追加して再試行してください。

DTWZ001I ユーザー <user_name> の認証は失敗しました。

説明: ユーザー ID あるいはパスワードが誤っているために、上述のユーザーの認証が失敗しました。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを指定して再試行してください。

DTWZ002I **ACL** ファイルはマクロ・ファイル
へのアクセスに必要な権限を認可し
ません：
ACL ファイル：<ACL_name>、
マクロ・ファイル：
<macro_name>、
ユーザー ID: <user_ID>、
ホスト IP アドレス：
<ip_address>、
ホスト名：<host_name>、
HTTP 方式：<method>、
HTML または **XML** ブロック名：
<block_name>。

説明: 上述のマクロ・ファイル、セクション、ユーザーの認証が失敗しました。

ユーザーの処置: エラーを修正して再試行してください。

DTWZ003I **Net.Data** は **ACL** ファイル
<file_name> を処理することができ
ません。

説明: 上述のファイルが正しい形式でないために、**Net.Data** がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在するようにしてください。また、正しい形式にしてください。

DTWZ004I **Net.Data** は無効な **MACRO_PATH**
を検出しました。

説明: **Net.Data** db2www.ini ファイルに無効な **MACRO_PATH** ステートメントがあるか、脱落しています。

ユーザーの処置: 有効な **MACRO_PATH** を指定して再試行してください。

第3章 戻りコード

この章では、`Net.Data` 関数から戻されるコードについて説明します。戻りコードおよびそのヘルプ情報は、以下のように説明されています。

[*-*]nnnn

説明： 発生した事象についての説明。

処置： 戻りコードに対してユーザーが行う適切な処置。

戻りコードには、正および負の番号があります。

正の戻りコード

構文、無効値などによる関数内のエラー、あるいはシステム・エラーを示します。

負の戻りコード

`Net.Data` の内部エラーを示します。

-1002

説明： 内部関数呼び出しが失敗しました。これは `Net.Data` の内部エラーです。

ユーザーの処置： ソフトウェアのサービス技術員に問題を報告してください。

-1001

説明： サーバーが `Net.Data` メモリー割り当て要求を処理できませんでした。

ユーザーの処置： サーバーに十分なメモリーを用意してください。

1000

説明： 関数呼び出しで要求された関数は、サポートされた `Net.Data` 組み込み関数ではありません。

ユーザーの処置： 組み込み関数に対して指定した呼び出しに、入力ミスがないようにしてください。

い。サポートされている組み込み関数のリストについては、*Net.Data* 解説書 を参照してください。

1001

説明： 入力パラメーターに `NULL` 値が含まれていました。

ユーザーの処置： 関数に渡す前にパラメーターを定義して、`NULL` でないことを確認してください。

1002

説明： 入力パラメーターに、`NULL` で終わる文字から構成されるストリング値が含まれていました。

ユーザーの処置： 指定したパラメーターに `NULL` 値が含まれていないようにしてください。

1003

説明: 誤った数のパラメーターが関数呼び出し時に渡されました。

ユーザーの処置: 関数の構文をチェックして、必須パラメーターをすべて渡すようにし、かつ指定最大数を超えないようにしてください。

1004

説明: 関数呼び出しで渡されたパラメーターは Net.Data のマクロ表変数でなければなりません。異なる変数型でした。

ユーザーの処置: 変数を、DEFINE ステートメントまたはブロックに TABLE 変数として定義してください。

1005

説明: 関数呼び出しで渡されたパラメーターはストリング変数でなければなりません。異なる変数型でした。

ユーザーの処置: 変数を、DEFINE ステートメントまたはブロックにストリング変数として定義してください。

1006

説明: 関数呼び出しでリテラル・ストリングが渡されましたが、これは出力パラメーターでなければなりません。

ユーザーの処置: 出力パラメーターに入力値を指定しないでください。パラメーター・タイプを INOUT に変更する必要がある場合があります。

1007

説明: パラメーターに無効な値が含まれています。以下のいずれかの条件が存在します。

- サポートされる最大値を超えた値が渡された。
- サポートされる最小値より小さい値が渡された。

- サポートされる選択項目のいずれでもない値が渡された。
- ゼロより小さいか等しい表の行または列値が渡された。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

1008

説明: パラメーターが表の範囲外の値を示しています。以下のいずれかの条件が存在します。

- プログラムが表の行または列の値を変更しようとしたが、受け取った行または列の値が 0 より小さいか、表で許可された行の最大数より大きかった。
- 組み込み関数に対する入力として行または列の値を受け取ったが、受け取った値が 0 より小さいか、表の行または列の現在の数より大きかった。

ユーザーの処置: 上述の値が 0 より小さかったり、表の現在の行数より大きかったりしないようにしてください。

1009

説明: システム・プログラムあるいは Perl プログラムによって戻されるデータの構文が、正しい Net.Data ストリング形式ではありません。以下のいずれかの条件が存在します。

- 等号が見つからなかった。
- 開始の引用符が見つからなかった。
- 終わりの引用符が見つからなかった。
- 値の間のスペース区切り文字が見つからなかった。

ユーザーの処置: 関数が戻すデータで構文エラーがないかチェックし、スクリプトを変更してください。

1010

説明: 要求データの一部を戻すことができませんでした。表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

2000

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数が、指定されたファイルを検出できませんでした。

ユーザーの処置: ファイルが、初期設定ファイルの FFI_PATH ステートメントによって指定されたパスにあるようにしてください。

2001

説明: 上述のファイルが現行の処理あるいは別の処理で使用中であったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がそれをオープンできず、指定のモードで共用できませんでした。

ユーザーの処置: 別の処理がファイルをロックしないようにしてください。

2002

説明: 上述のファイルがこのマクロ起動によってオープンされなかったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数が、そのファイルをクローズできませんでした。

ユーザーの処置: ファイルは、それをオープンしたマクロによってクローズしなければなりません。行った変更は失われることがあります。

2003

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数は、サポートされる最大バイト数を行のバイト数が超えたために、データ行を表変数に読み取ることができませんでした。

ユーザーの処置: この表は Net.Data で処理するには大きすぎます。

2004

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がファイルを見つけようとしてしましたが、FFI_PATH 構成ファイル変数で、サポートされる最大バイト数の 4095 より長いパスを検出しました。

ユーザーの処置: FFI_PATH ステートメントを、Net.Data が現在のアプリケーションで必要とするディレクトリーだけにして短くしてください。

2005

説明: システム関数への呼び出しが失敗しました。これは Net.Data へ報告される内部エラーで、ユーザーの対応を必要とする場合があります。あるいは、Net.Data で処理するのは不適切な一時的なシステム・エラーである可能性もあります。この問題が続く場合、ソフトウェアのサービス技術員に報告してください。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。問題が続く場合、ソフトウェアのサービス技術員に報告してください。

2006

説明: 上述のファイルが現行の処理あるいは別の処理で使用中であったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がそれにアクセスできず、指定のモードで共用できませんでした。

ユーザーの処置: ファイルを使用している処理を終了し、再試行してください。関数を呼び出した

際にファイルが使用中である場合、自動的に再試行する RETRY 値を指定する方法もあります。

3001

説明: 上述の登録が既に存在しているために、Web 登録の組み込み関数が Web 登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 別の Web 登録名を使用してください。

3002

説明: Web 登録の組み込み関数が上述の登録を削除できませんでした。以下のいずれかの条件が存在します。

- 登録が別の処理で使用中であった。
- 登録を見つけられなかった。

ユーザーの処置: 登録が別の処理で使用中である場合、その処理がクローズした後で試行してください。

3003

説明: 上述の項目が既に存在しているために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録に項目を追加できませんでした。

ユーザーの処置: Web 登録では、重複した項目を作成することはできません。項目を変更して関数を再実行依頼するか、既存の項目を使用してください。

3004

説明: 上述の項目が存在していないために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録から項目を削除または検索することができませんでした。

ユーザーの処置: Net.Data は要求された登録項目を検出できません。

3005

説明: 上述の登録が見つからないために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録を使用できませんでした。

ユーザーの処置: 登録が既に存在しない場合には、作成してください。

3006

説明: 登録名にあるパスが存在しないために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 登録を作成する際には、パスを指定してください。

3007

説明: 要求発行者に指定の登録への適切な権限がないために、Web 登録の組み込み関数が指定の操作を完了できませんでした。

ユーザーの処置: Web 登録の関数にある機密保護パラメーターを変更して、操作を許可してください。

3008

説明: 未知の原因により、Web 登録の組み込み関数が上述の登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。

4000

説明: パラメーターに無効な整数値が含まれています。以下のいずれかの条件が存在します。

- 入力パラメーターに整数以外の値が含まれていた。
- 入力パラメーターにサポートされる最大値である 999,999,999 より大きい値が含まれていた。
- 出力を整数で表すことができない。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

4001

説明: パラメーターに無効な数値が含まれています。以下のいずれかの条件が存在します。

- 入力パラメーターに無効な数形式である値が含まれていた。
- 入力パラメーターに、-999,999,999 から +999,999,999 までのサポート範囲から外れる指数を指定する値が含まれていた。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

4002

説明: 算術演算の結果、-999,999,999 から +999,999,999 までのサポート範囲から外れる指数が算出されました。

ユーザーの処置: 値はサポート範囲内にしてください。

5000

説明: 関数ブロックの EXEC ステートメントに指定したストリングに、スペース文字しか含まれていませんでした。

ユーザーの処置: 全桁スペース以外のストリングを指定してください。

6000

説明: 呼び出された関数の関数ブロックで EXEC ステートメントが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: FUNCTION ブロックに EXEC ステートメントを追加してください。

6100

説明: EXEC ブロック内のパスが無効であるか EXEC ブロックが脱落しています。

ユーザーの処置: EXEC ブロックが指定されていて、EXEC ブロック内で指定したパスがプログラム・オブジェクトを参照しているようにしてください。

6101

説明: データ・タイプに誤った属性が指定されているか、Net.Data がデータ・タイプをサポートしていません。

ユーザーの処置: 以下の方法のいずれかを行って、エラーのパラメーターを訂正してください。

- 精度および位取りが指定されている場合、位取りが精度より小さいかもしくは等しくなるようにする。
- 精度または位取りが指定されている場合、精度または位取りがデータ・タイプで許可されていて、指定値が許可された範囲にあるようにする。
- データ・タイプが DTWTABLE の場合、パラメーター値が Net.Data 表であるようにする。
- サポートされているデータ・タイプが指定されているようにする。

6102

説明: データを表示可能形式から内部形式に変換中、もしくは、内部形式から表示可能形式に変換中に、データ変換エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 指定したデータがパラメーターのデータ・タイプと互換性があるようにしてください。

7000

説明: Net.Data は、指定された SMTP サーバーに接続できません。

ユーザーの処置: ホスト名または IP 番号を正しく指定しているか確認してください。SMTP サーバーは、指定されたホストのポート 25 で実行していなければなりません。

7001

説明: Net.Data が電子メール・メッセージを指定された SMTP サーバーへ中継する間に、SMTP エラーが発生しました。

ユーザーの処置: DTW_SENDMAIL を有効なパラメーターで呼び出しているか確認してください。

7002

説明: 指定された SMTP サーバーは拡張シンプル・メール転送プロトコル (ESMTP) をサポートしていません。Net.Data は 8 ビットの文字列 (たとえば、U.S. ASCII 文字以外) を含む電子メール・メッセージを、7 ビットの文字列 (たとえば、U.S. ASCII 文字) のみをサポートしている SMTP サーバーに中継することはできません。

ユーザーの処置: ESMTP (8BITMIME) をサポートする SMTP サーバーを使用するか、あるいは、電子メール・メッセージに非米国 ASCII 文字を使用しないようにしてください。

8000

説明: Cookie が見つかりません。以下の条件の 1 つが当てはまります。

- Cookie が設定されていません。
- Cookie の有効期限が切れています。
- Cookie には有効期限がありませんが、永続的ではありません。Cookie を受け入れた Web ブラウザーが終了したか、強制終了されました。
- Cookie にセキュア・オプションが設定されており、現行の HTTP 要求は、非セキュア・チャンネル上から送信されてきました。

- 設定された Cookies 要求が実行依頼された際に、Web ブラウザーが Cookies を受け入れなかったか、あるいは、JavaScript プログラムを実行しませんでした。
- Cookies の個数がブラウザーの制限を超えたため、その Cookie は Web ブラウザーにより削除されました。制限については、以下の Netscape の仕様で説明されています。

http://search.netscape.com/newsref/std/cookie_spec.html.

ユーザーの処置: Cookie が検出されない理由を判別し、訂正してください。

8201

説明: 永続的組み込み関数がシーケンスをはずれて呼び出されました。

ユーザーの処置: 永続的組み込み関数が正しく、シーケンスに入っているようにしてください。たとえば、DTW_TERMINATE() に対する呼び出しの前に、DTW_ACCEPT() に対する呼び出しを行うことはできません。永続的組み込み関数の適切なシーケンスについて学ぶには、*Net.Data* 管理およびプログラミングの手引き OS/400 版の永続的マクロの章を参照してください。

8202

説明: 永続的にすることはできません。変数を定義する前にテキストが標準出力されたため、静的変数の定義に失敗しました。

ユーザーの処置: テキストを書き込む前に静的変数を定義することによって、永続的にしてください。

8200

説明: マクロを永続的にすることはできません。マクロを永続的にするように要求する組み込み関数が呼び出されました。

ユーザーの処置: マクロ内で永続的にするか、関数呼び出しを削除してください。永続的マクロを

使用可能にすることについての情報は、*Net.Data*
管理およびプログラミングの手引き OS/400 版を
参照してください。

第4章 トレース・メッセージ

ご使用のバージョンの Net.Data がログ記録機能を提供している場合は、Net.Data の活動をトレースすることができます。ログ記録は、マクロ・アプリケーションをデバッグする場合に有効です。トレース・ログについての Net.Data の構成に関する詳細については、ご使用のオペレーティング・システムの *Net.Data* 管理およびプログラミングの手引き を参照してください。トレース機能をオンにした場合にログ記録することができるメッセージについて、以下で説明します。

DTWF500I Net.Data invoked using CGI

説明: Net.Data が CGI アプリケーションとして呼び出されました。

DTWF501I Net.Data invoked using ICAP/GWAPI

説明: Net.Data が ICAP アプリケーションまたは GWAPI アプリケーションとして呼び出されました。

DTWF502I Net.Data invoked as a Servlet

説明: Net.Data が Servlet として呼び出されました。

DTWF503I Net.Data invoked using Net.Commerce

説明: Net.Data が Net.Commerce を介して呼び出されました。

ユーザーの処置: なし。

DTWF504I Searching '<path_directive>' for '<filename>' and found file '<fully_qualified_filename>'

説明: Net.Data が、指定されたファイルの指定されたパス構成変数を検索し、結果ファイルを検出しました。

DTWF505I The number of open files: '<num>'

説明: Net.Data は、現在、指定された数のファイルをオープンしています。

DTWF506I Number of days before expiration: '<%l>d'

説明: このバージョンの Net.Data は、指定された日数で有効期限が切れます。

DTWF507I PATH_TRANSLATED: '<path name>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF508I PATH_INFO: '<path name>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF509I SCRIPT_NAME: '<name>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF510I CONTENT_TYPE: '<type>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF511I CONTENT_LENGTH: '<length>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF512I QUERY_STRING: '<string>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF513I SERVER_PORT: '<num>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF514I REQUEST_METHOD: '<method>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWF515I Initializing Language
 Environment '<name>'**

説明: Net.Data は、指定された言語環境をセットアップしています。

**DTWF516I Uninitializing Language
 Environment '<name>'**

説明: Net.Data は、指定された言語環境をクリーンアップしています。

**DTWF517I Invoking Language Environment
 '<name>', for function
 '<funcname>'**

説明: Net.Data は、指定された関数の指定された言語環境を呼び出しています。

**DTWF518I Returning from processing
 Language Environment '<name>'**

説明: 関数呼び出しの処理後に、Net.Data は指定された言語環境から戻りました。

**DTWF519I Creating Language Environment
 '<name>': DLLname='<dllname>',
 parameters='<parmlist>'**

説明: Net.Data は、指定された DLL 名およびパラメーター・リストを使用して、指定された言語環境を作成しています。

DTWF520I New function, name='<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前関数を作成しています。

**DTWF521I New table variable,
 name='<name>'**

説明: Net.Data は、指定された名前表変数を追加しています。

DTWF522I New variable, name='<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前新しい変数を追加しています。

DTWF523I Looking up '<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前の変数または関数の検索を試行しています。

DTWF524I Found variable '<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前の変数を検出しました。

DTWF525I Found table variable '<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前表変数を検出しました。

DTWF526I Found function '<name>'

説明: Net.Data は、指定された名前の関数を検出しました。

DTWF527I Setting up parameter list with <num> parameters

説明: Net.Data は、指定された数のパラメーターを使用して、関数呼び出しのパラメーター・リストをセットアップしています。

DTWF528I Adding parameter, name='<parmname>', value='<parmvalue>'

説明: Net.Data は、指定された名前および値でパラメーターを関数呼び出しパラメーター・リストに追加しています。

DTWF529I Adding table parameter, name='<parmname>'

説明: Net.Data は、指定された名前で表パラメーターを関数呼び出しパラメーター・リストに追加しています。

DTWF530I Adding parameter, value='<parmvalue>'

説明: Net.Data は、指定された値でパラメーターを関数呼び出しパラメーター・リストに追加しています。

DTWF531I Adding OUT parameter, name='<parmname>'

説明: Net.Data は、指定された名前で出力パラメーターを関数呼び出しパラメーター・リストに追加しています。

DTWF532I Updating output parameter '<parmname>', with new value '<parmvalue>'

説明: Net.Data は、指定された出力パラメーターを新しく指定された値に設定しています。

DTWF533I Searching MESSAGE block for '<messagecode>'

説明: Net.Data は、指定された戻りコードまたは SQLSTATE を MESSAGE ブロックから検索しています。

DTWF534I Found an exact SQLSTATE MESSAGE block match

説明: Net.Data は、MESSAGE ブロック内で一致する SQLSTATE を検出しました。

DTWF535I Found an exact MESSAGE block match

説明: Net.Data は、MESSAGE ブロック内で一致する戻りコードを検出しました。

DTWF536I Default MESSAGE block message found

説明: Net.Data は、MESSAGE ブロック内で一致するものを検出しませんでした。代わりにデフォルトの MESSAGE ブロック・メッセージを使用しています。

DTWF537I No MESSAGE block matches

説明: Net.Data は、戻りコードまたは SQLSTATE を一致させるために、MESSAGE ブロックでメッセージを検出しませんでした。

DTWF538I Adding MESSAGE block entry for '<returncode>'

説明: Net.Data は、指定された戻りコードの MESSAGE ブロック項目を追加しています。

DTWF539I Adding SQLSTATE MESSAGE block entry for '<%s>'

説明: Net.Data は、指定された SQLSTATE の MESSAGE ブロック項目を追加しています。

DTWF540I Adding default MESSAGE block entry

説明: Net.Data は、デフォルトの MESSAGE ブロック項目を追加しています。

DTWF541I Resolving a <vartype> variable reference

説明: Net.Data は、指定された変数タイプの変数参照を解決しています。

DTWF542I Variable resolved to value '<varvalue>'

説明: Net.Data は、指定された値で変数を解決しました。

DTWF543I Creating a <vartype> variable

説明: Net.Data は、指定されたタイプの変数を作成しています。

DTWF544I Processing REPORT header

説明: Net.Data は、REPORT ブロックのヘッダーを処理しています。

DTWF545I Processing REPORT footer

説明: Net.Data は、REPORT ブロックのフッターを処理しています。

DTWF546I Processing row <rownum> of ROW block

説明: Net.Data は、指定された行番号の ROW ブロックを処理しています。

DTWF547I Setting up report processing variables

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWF548I Printing a default report

説明: Net.Data は、デフォルトの報告書を出力しています。

DTWF549I Beginning execution for function '<name>'

説明: Net.Data は、指定された関数の関数呼び出しを開始しています。

DTWF550I Enabling default reporting

説明: Net.Data は DTW_DEFAULT_REPORT が YES であり、REPORT ブロックが存在しないことを検出したため、デフォルトの報告が使用可能になります。

DTWF551I Limiting result sets to <number> rows

説明: Net.Data が現行の表変数に対する制限を検出したか、RPT_MAX_ROWS が 0 より大きい値に設定されているため、戻される行数が上述の数に制限されています。

DTWF552I Function call ended for '<name>', return value is '<returnval>'

説明: Net.Data は、指定された関数呼び出しの処理を完了しており、指定された値を戻します。

**DTWF553I Retrieving next row from the
 Language Environment**

説明: Net.Data は、言語環境から次の行を検索しています。

**DTWF554I <number> rows returned from
 the Language Environment**

説明: Net.Data は、言語環境から指定された数の行を戻しました。

DTWF555I Defining function '<name>'

説明: Net.Data は、指定された関数を定義しています。

**DTWF556I Defining MACRO_FUNCTION
 '<name>'**

説明: Net.Data は、指定された
MACRO_FUNCTION を定義しています。

**DTWF557I Function call '<name>' is a
 built-in function**

説明: 現行の関数呼び出しは、組み込み関数用です。

**DTWF558I Function call '<%s>' is a
 MACRO_FUNCTION**

説明: 現行の関数呼び出しは、
MACRO_FUNCTION 関数用です。

DTWF559I Caching macro '<macroname>'

説明: Net.Data は、指定されたマクロをキャッシュします。

**DTWF560I Using pre-processed macro
 '<macroname>'**

説明: Net.Data は、キャッシュ内で指定されたマクロを検出しました。事前処理されたバージョンを使用しています。

**DTWF561I Adding macro '<macroname>' to
 the cache**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの事前処理されたバージョンをキャッシュに追加しています。

**DTWF562I Caching web page for macro
 '<macroname>'**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの Web ページをキャッシュします。

**DTWF563I Using cached web page for
 macro '<macroname>'**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの Web ページをキャッシュ内で検出しました。キャッシュされているページを送信しています。

**DTWF564I Adding web page for macro
 '<macroname>' to the cache**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの Web ページをキャッシュに追加しています。

**DTWF565I Processing <directivename>
 directive: path '<pathname>'**

説明: Net.Data は、DTW_CACHE_MACRO または DTW_DO_NOT_CACHE_MACRO のいずれかの指定されたパスを処理しています。

DTWF566I Processing DTW_CACHE_PAGE directive: key '<key>', age '<age>' seconds, and usage scope '<scope>'

説明: Net.Data は、指定されたキー、経過時間、および使用範囲を持つ DTW_CACHE_PAGE ディレクティブを検出しました。

DTWF567I Unable to locate the SQL Language Environment; web page caching disabled

説明: Net.Data は、SQL 言語環境を検索することができず、Web ページをキャッシュすることができません。

DTWF568I Configuration variable '<%s>' set with value '<%s>'

説明: Net.Data は、指定された構成変数を検出し、これを指定された値に設定しています。

DTWF577I Parsing of the configuration file db2www.ini completed

説明: Net.Data は、初期設定ファイルの処理を完了しました。

DTWI500I Function <name>: importing flat file data into Net.Data table

説明: Net.Data は、フラット・ファイルの内容を Net.Data 表変数にインポートしています。

DTWI501I Function <name>: exporting Net.Data table data to flat file

説明: Net.Data は、Net.Data 表の内容をフラット・ファイルにエクスポートしています。

DTWI503I Function <name>: deleting entries in the open file handle table

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWI504I Function <name>: splitting the file name into path and filename

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWI505I Function <name>: parsing FFI_PATH

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWI506I Function <name>: deleting file '<file name>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWJ500I Function <name>: applet name is '<appletname>'

説明: Java Applet 言語環境は、指定されたアプレット名を検出しました。

DTWJ501I Function <name>: applet tag attribute '<attributename>' found with value '<attributevalue>'

説明: Java Applet 言語環境は、指定された名前および値のアプレット・タグ属性を検出しました。

DTWJ502I Function <name>: DTW_APPLET_ALTTEXT found with value '<alttext>'

説明: Java Applet 言語環境は、指定された代替テキストを含む変数 DTW_APPLET_ALTTEXT を検出しました。

**DTWL500I Function '*<name>*' called in the
 <le_name> Language
 Environment**

説明: 指定された言語環境で関数が呼び出されました。

**DTWL501I Function *<name>*: parameter
 <parmnum>, name='<parmname>',
 value='<parmvalue>'**

説明: 指定された関数において、現行のパラメーターに上記の名前と値が設定されています。

**DTWL502I Function *<name>*: parameter
 <parmnum> is a table variable
 named '*<parmname>*'**

説明: 指定された関数において、現行のパラメーターは、指定された名前の表関数です。

**DTWL503I Function *<name>*: parameter
 <parmnum> is an *<usage>*
 parameter**

説明: 現行のパラメーターに上記の使用タイプ (IN、OUT、または INOUT) が設定されています。

**DTWL504I Function *<name>*: output
 parameter '*<parmname>*' now set
 to value '*<parmvalue>*'**

説明: 指定された関数において、現行の出力パラメーターに、新しく指定された値が設定されました。

**DTWL505I Function '*<name>*' was
 successful**

説明: 現行の関数呼び出しが正常に行われました。

**DTWL506I Function '*<%s>*' failed with
 return code '*<%d>*'**

説明: 現行の関数呼び出しが失敗し、指定された戻りコードが戻されました。

**DTWL507I Function *<name>*: executing
 inline *<language>*
 statements:¥n<statements>**

説明: Net.Data は、指定された解釈プログラムを指定されたインライン言語ステートメントで呼び出しています。

DTWP500I Parsing macro '*<name>*'

説明: Net.Data は、指定されたマクロの解析を開始しています。

**DTWP501I Parsing of macro '*<name>*'
 completed**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの解析を完了しました。

**DTWP502I Parsing query string or form
 data**

説明: Net.Data は、照会ストリングまたはフォーム・データのいずれかを解析しています。

**DTWP503I Parsing pre-processed macro
 '*<name>*'**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの事前処理された (キャッシュされた) バージョンを解析しています。

**DTWP506I In function yyparse(), the token
 ID '*<num>*' with token value
 '*<value>*' returned from lexyy**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP507I Calling function
 add_to_alias_table to add a
 string_var_list to the alias table**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP508I Calling function
 add_to_alias_table to add a
 D2W_Table object to the alias
 table**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP509I Calling function
 add_to_alias_table to add a
 function object to the alias
 table**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP510I Calling function
 add_to_alias_table to add an
 environment variable object to
 the alias table**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP511I Pre-processing macro '<name>'
 and saving the results**

説明: Net.Data は、マクロ・キャッシュにある
指定されたマクロを事前処理しています。

**DTWP512I Parsing and pre-processing the
 INCLUDE file '<name>' in macro
 '<name>'**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの解析時
に、マクロ・キャッシュにある指定された
INCLUDE を事前処理しています。

**DTWP513I Parsing and pre-processing the
 INCLUDE file '<name>'
 completed**

説明: Net.Data は、指定された INCLUDE ファ
イルの事前処理および解析を完了しました。それ
をマクロ・キャッシュに保管しています。

**DTWP514I Parsing the INCLUDE_URL file
 '<name>' in macro '<name>'**

説明: Net.Data は、指定されたマクロの指定さ
れた INCLUDE_URL ディレクティブを解析して
います。

**DTWP515I Parsing the INCLUDE_URL file
 '<name>' completed**

説明: Net.Data は、指定された INCLUDE_URL
ディレクティブの解析を完了しました。

**DTWP516I Calling function add_token to
 add token ID '<num>' and token
 value '<value>'**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWP517I Parsing INCLUDE_URL file
 '<name>' from remote server
 '<name>'**

説明: Net.Data は、指定された INCLUDE_URL
ファイルをリモート Web サーバーから検索して
います。

**DTWP518I Parsing INCLUDE_URL file
 '<name>' from local server**

説明: Net.Data は、指定された INCLUDE_URL
ファイルをローカル Web サーバーから検索して
います。

DTWP519I Parsing Direct Request with query string '<name>'

説明: Net.Data は、指定された照会ストリングで直接要求を解析しています。

DTWP520I Executing Direct Request

説明: Net.Data は、直接要求を実行しています。

DTWQ500I Function <name>: returning result set starting at row <number>

説明: Net.Data は、START_ROW_NUM を検出しました。指定された行番号で始まる結果セットを戻しています。

DTWQ501I Function <name>: calculating TOTAL_ROWS

説明: DTW_SET_TOTAL_ROWS が YES に設定されており、Net.Data は TOTAL_ROWS 表処理変数を計算しています。

DTWQ502I Function <name>: TOTAL_ROWS is <number>

説明: Net.Data は、表処理変数 TOTAL_ROWS を指定された数値に設定しました。

DTWQ503I Establishing a connection to the database

説明: Net.Data がデータベースに接続しています。

DTWQ504I Reusing an existing connection to the database

説明: Net.Data は、接続が存在していることを検出しました。接続を再利用しています。

DTWQ505I Connection established with SSID='<subsystem_id>', plan='<planname>', and userID='<userid>'

説明: Net.Data は、指定されたサブシステム ID、プラン名、およびユーザー ID を使用して、データベースへの接続を確立しました。

DTWQ506I Connection established with SSID='<subsystem_id>' and userID='<userid>'

説明: Net.Data は、指定されたサブシステム ID およびユーザー ID で ODBC データベースへの接続を確立しました。

DTWQ507I Function <name>: calling stored procedure '<procname>'

説明: Net.Data は、指定されたストアード・プロシージャを呼び出しています。

DTWQ508I Function <name>: executing SQL statement '<statement>'

説明: Net.Data は、指定された SQL ステートメントを実行しています。

DTWQ509I Function <name>: no result sets returned

説明: Net.Data は、照会またはストアード・プロシージャ呼び出しから結果セットが戻されなかったことを検出しました。

DTWQ510I Function <name>: <num> result sets returned

説明: Net.Data は、指定された数の結果セットをストアード・プロシージャ呼び出しから受け取りました。

**DTWQ511I Function <name>: one or more
 result sets returned**

説明: Net.Data は、照会またはストアド・プロシージャ呼び出しから少なくとも 1 つの結果セットが戻されたことを検出しました。

**DTWQ512I Function <name>: request for
 result set '<setname>' (result set
 <setnum>)**

説明: Net.Data は、指定されたセット名 (指定された位置にある) で表される結果セットに対する要求を検出しました。

**DTWQ513I Function <%s>: request for
 result set <%d>**

説明: Net.Data は、指定された位置にある結果セットに対する要求を検出しました。

**DTWQ514I Function <name>: storing result
 set <setnum> for later**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWQ515I Function <name>: fetching next
 row from result set**

説明: Net.Data は、現行の結果セットから次の行を取り出しています。

**DTWQ516I Function <name>: issuing a
 COMMIT**

説明: Net.Data は、データベースにコミット (COMMIT) を発行しています。

**DTWQ517I Function <name>: issuing a
 ROLLBACK**

説明: Net.Data は、データベースにロールバック (ROLLBACK) を発行しています。

**DTWQ518I Disconnecting from the
 database**

説明: Net.Data は、データベースから切断しています。

**DTWQ519I Function <%s>: created LOB
 file '<%s>'**

説明: Net.Data は、大容量のオブジェクトをデータベースから検出して、指定されたファイルに保管しました。

**DTWQ520I Function <name>: retrieved row
 with values:¥n<row>**

説明: Net.Data は、指定された行をデータベースから検出しました。

**DTWQ521I An error occured storing a web
 page in the cache;
 SQLCODE='<sqlcode>',
 SQLSTATE='<sqlstate>'**

説明: Net.Data は、Web ページをキャッシュに保管しようとしたときに、Net.Data がエラーに遭遇し、SQLCODE および SQLSTATE を受け取りました。

**DTWQ522I An error occured retrieving a
 web page from the cache;
 SQLCODE='<sqlcode>',
 SQLSTATE='<sqlstate>'**

説明: Net.Data は、Web ページをキャッシュから検出しようとしたときに、Net.Data がエラーに遭遇し、SQLCODE および SQLSTATE を受け取りました。

DTWQ523I An error occurred attempting automatic cache management;
SQLCODE='<sqlcode>',
SQLSTATE='<sqlstate>'

説明: Net.Data は、自動キャッシュ管理を行おうとしたときに、Net.Data エラーに遭遇し、SQLCODE および SQLSTATE を受け取りました。

DTWQ524I Function <name>: connection reuse returned with return code '<returncode>', action code '0x<actioncode>', connection handle at '0x<con_addr>', for subsystem '<subsystem_id>', plan '<planname>', using user ID '<userid>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWQ525I Function <name>: SQLCA at '0x<sqlca_addr>' contains SQLCODE '<sqlcode>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWQ526I Loading CLI initialization file '<filename>'

説明: Net.Data は、指定された CLI 初期設定ファイルをロードしています。

DTWS500I Function <name>: executing external program '<programname>'

説明: システムまたは Perl 言語環境は、指定された外部プログラムを呼び出しています。

DTWS501I Function <name>: name of file containing output parameters from the program to the <LE> Language Environment: '<filename>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS502I Function <name>: contents of the output parameters file: '<output>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS503I Function <name>: name of file containing the standard output: '<filename>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS504I Function <name>: contents of the standard output: '<output>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS505I Function <name>: name of script file that invokes the program: '<filename>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS506I Function <name>: contents of the invoking script: '<contents>'

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

DTWS507I Function <name>: setting environment variable for input parameter

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWS508I Function <name>: getting an
output parameter name:
 '<parmname>'**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWS509I Function <name>: getting an
output parameter value:
 '<parmvalue>'**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWX500I Function <name>: executing
external REXX exec
 '<execname>' with command
argument list '<arglist>'**

説明: Net.Data は、指定された外部 REXX exec
を指定された引き数リストで実行しています。

**DTWX502I Function <name>: creating
REXX environment**

説明: Net.Data は、REXX 解釈プログラム用の
REXX 環境を作成しています。

**DTWX503I Function <name>: calling REXX
interpreter to process REXX
exec**

説明: Net.Data は、現行の REXX exec を処理
するために REXX 解釈プログラムを呼び出して
います。

**DTWX504I Function <name>: processing of
REXX exec completed**

説明: REXX 解釈プログラムは、REXX exec の
処理を完了しました。

**DTWX505I Function <name>: REXX
environment terminated**

説明: Net.Data は、REXX 解釈プログラム用の
REXX 環境を終了しました。

**DTWX506I Function <name>: processing
parameter list**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWX507I Function <name>: processing
REXX exec header and footer**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWX508I Function <name>: pre-loading
REXX exec**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

**DTWX509I Function <name>: processing
error message with return code
 '<retcode>'**

説明: IBM が使用する内部メッセージ。

Net.Data テクニカル・ライブラリー

Net.Data テクニカル・ライブラリーは、以下の Net.Data Web サイトから参照することができます。

<http://www.ibm.com/software/data/net.data/library.html>

資料	説明
<ul style="list-style-type: none">• <i>Net.Data</i> 管理およびプログラミングの手引き OS/390 版• <i>Net.Data</i> 管理およびプログラミングの手引き OS/2、Windows NT、および UNIX 版• <i>Net.Data</i> 管理およびプログラミングの手引き OS/400 版	Net.Data のインストール、構成、および起動に関する概念および操作情報が記載されています。また、Net.Data マクロの記述方法、Net.Data パフォーマンス技法の使用方法、Net.Data の言語環境、接続管理、およびトラブルシューティングおよびパフォーマンス・チューニングのための Net.Data ログ記録およびトレースの使用方法について説明しています。
<i>Net.Data</i> 解説書	Net.Data マクロ言語、変数、および組み込み関数について説明しています。
<i>Net.Data</i> 言語環境解説書	Net.Data 言語環境インターフェースについて説明しています。
<i>Net.Data</i> メッセージおよびコード	Net.Data エラー・メッセージおよび戻りコードのリストを記載しています。

特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミング、またはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む) 商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

IBM は本書を『現状のまま』提供するものであり、明示または黙示にかかわらず、非侵害性、商業的な使用可能性、または特定の目的に対する適合性に関する黙示の保証を含み、かつそれには限定されない、いかなる保証も行いません。国によっては特定の商取引における明示または黙示の保証の放棄は認められません。したがってこの記述はお客様に適用されない場合もあります。

本書の情報は定期的に変更されており、それらの変更は本書の新しい版で取り入れられる予定です。IBM は本書に記載された製品およびプログラムを予告なく改良または変更する場合があります。

IBM は、この Web サイトよりアクセスできるその他の Web サイトに関していかなる保証もしません。お客様が IBM 以外の Web サイトにアクセスされた場合、これらの Web サイトは、IBM から独立して運営されており、IBM

は、当該 Web サイトの内容に関していかなる責任も負わないことをご了承ください。さらに、IBM 以外の Web サイトにリンクがはられていることにより IBM が推奨するものでもなく、当該 Web サイトの内容もしくは使用について責任を負うものではありません。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとしします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互作用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Canada Limited
Office of the Lab Director
1150 Eglinton Ave. East
North York, Ontario
M3C 1H7
CANADA

本プログラムに関する上記の情報は、適切な条件の下で、使用することができますが、有償の場合もあります。

本書において解説されているライセンス・プログラムおよびそのライセンス・プログラム資料は、「IBM プログラム使用契約書」または「IBM プログラムのご使用条件」の契約条件に基づいて弊社から提供されるものです。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、制御された環境下のものです。したがって、他のオペレーティング環境で得られる結果は大幅に異なる場合があります。開発レベル・システムでいくつかの測定方法が存在する場合があります、それらの測定方法が一般的に使用可能なシステム上ですべて同じであるという保証はありません。さらに、測定値の中には統計での補外 (extrapolation) によって得られたものが含まれていることがあります。実際の結果は違っていることがあります。本書をご使用になる際には、特定の環境にデータが適用できるかどうかを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、それらの製品の提供元、その出版物、またはその他の公開された情報源から入手したものです。IBM はそれらの製品のテストは行っておらず、パフォーマンスの正確性、互換性、または IBM 以外の製品に関連するその他のいかなる主張も確認できません。IBM 以外の製品の機能についての質問は、それらの製品の提供元にご照会ください。

IBM の将来の方向または以降に関して記述がなされていたとしても、それらは予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれていますが、これは説明に具体性を与えるために記載されたものであり、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品の名前が含まれている場合があります。それらの名前はすべて架空のものであり、また名称や住所が類似する企業が実在しても、それは偶然に過ぎません。

著作権のライセンス:

本書には、IBM が説明するための一例として提供している簡単なプログラムが含まれています。これらの例は必ずしもすべての場合について完全にテストされたものではありません。IBM はこれらのプログラムの信頼性、可用性、および機能について法律上の瑕疵担保責任を含むいかなる明示または暗示の保証責任も負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのすべての部分、またはすべての派生した創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (年).このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムの派生物です。 © Copyright IBM Corp. _年を入力してください _ All rights reserved.

商標

アスタリスク (*) で示されている次の用語は、 IBM Corp. の米国およびその他の国におけるの商標です。

ACF/VTAM	IBM
AISPO	IMS
AIX	IMS/ESA
AIX/6000	LAN DistanceMVS
AIXwindows	MVS/ESA
AnyNet	MVS/XA
APPN	Net.Data
AS/400	OS/2
BookManager	OS/390
CICS	OS/400
C Set++	PowerPC
C/370	QBIC
DATABASE 2	QMF
DataHub	RACF
DataJoiner	RISC System/6000
DataPropagator	RS/6000
DataRefresher	S/370
DB2	SP
DB2 Connect	SQL/DS
DB2 Extenders	SQL/400
DB2 OLAP Server	System/370
DB2 Universal Database	System/390
Distributed Relational	SystemView
Database Architecture	VisualAge
DRDA	VM/ESA
eNetwork	VSE/ESA
Extended Services	VTAM
FFST	WebExplorer
First Failure Support Technology	WIN-OS/2

以下の用語は他社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴ、および Solaris は、 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国におけるの商標です。

Tivoli および NetView は、Tivoli Systems Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

2 個のアスタリスク (**) で示されている他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

IBM と連絡をとる

技術上の問題がある場合は、時間をとって**問題判別の手引き** に定義されている処置を検討し、それらの提案を実行した後で、DB2 顧客サービスに連絡をとってください。この資料には、DB2 顧客サービスがお客さまを支援するために必要とする情報が説明されています。

製品情報

以下の情報は英語で提供されます。内容は英語版製品に関する情報です。

<http://www.ibm.com/software/data/>

DB2 World Wide Web ページには、ニュース、製品説明、研修スケジュールなどの DB2 に関する最新情報が提供されています。ただし、提供されている情報は英語です。

<http://www.ibm.com/software/data/db2/library/>

「DB2 Product and Service Technical Library」では、よくされる質問 (FAQ)、修正内容、資料、および最新の DB2 技術情報などの情報へのアクセスが提供されています。

注: この情報のご提供は英語のみとなりますのでご注意ください。

<http://www.elink.ibm.com/pbl/pbl/>

「International Publications」注文用 Web サイトでは、マニュアルの注文方法についての情報を提供しています。ただし、提供されている情報は英語です。

<http://www.ibm.com/education/certify/>

IBM の「Professional Certification Program」Web サイトでは、DB2 を含むさまざまな IBM 製品の認証テストの情報を提供しています。ただし、提供されている情報は英語です。

<ftp.software.ibm.com>

匿名でログインしてください。ディレクトリー /ps/products/db2 には、DB2 および多数の他製品に関連したデモ、修正プログラム、情報、およびツールがあります。ただし、提供されている情報は英語です。

comp.databases.ibm-db2, bit.listserv.db2-l

これらのインターネット・ニュースグループは、ユーザーが DB2 製品に関する自分の経験について話し合うために利用できます。ただし、提供されている情報は英語です。

Compuserve: GO IBMDB2

このコマンドを入力すると、IBM DB2 Family forum にアクセスできます。すべての DB2 製品が、このフォーラムでサポートされています。ただし、提供されている情報は英語です。

米国以外の国で IBM に連絡する方法については、*IBM Software Support Handbook* の Appendix A を参照してください。この資料にアクセスするには、Web ページ <http://www.ibm.com/support/> にアクセスし、ページの最下部にある「IBM Software Support Handbook」リンク・ボタンを選択します。

注: 国によっては、IBM が承認している販売業者が、IBM サポート・センターの代わりにそれら販売業者のサポート・センターに連絡する場合があります。



Printed in Japan

SB88-7413-01



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12